

# 農は国のもと、大事にせんと!



こんにちは

## 岸本のり子です

発行 日本共産党  
大津湖西地区委員会  
連絡先 日本共産党大津市会議員  
岸本のり子  
大津市和邇春日2丁目  
ケイタイ 080331163877

2010・2/7 84

日本共産党



日本共産党志賀  
地域後援会主催に  
よる「農業を語る  
つどい」が1月31  
日、木戸会館で行  
なわれました。

地元農家の方、地域の農業組合長さん、元農水省に勤めていた方、元保守系町議さん、安全でおいしいお米を食べたい人・・・多彩な顔ぶれで実のある懇談会になりました。

党からは党県委員会 国民運動部長の林俊郎さんが『農業再生プラン』を中心に話しました。

### 農業守る方向同じ、心強い!

・JA全国農業協同組合中央会・

林俊郎さんは、冒頭

に今年1月開かれた、党大会で来賓として

初めて参加された

JA全中専務理事の

挨拶を紹介。



### 日本共産党の農業政策

再生産可能な価格保障と所得補償

日米FTA(自由貿易協定)反対

食料主権の確立

この方向は私たちの思いと同じで大変心強い

林さんは、日米FTAを前提とした民主党の農業政策では日本の農業は守れないことを指摘、党の農業再生プランを生かしてこそ、日本の農業が守られることを強調。

参加者からは代々引き継いできた山林や田畑、一生懸命守っている。年取って大変だが農業が好き。しかし、現状では息子にヤレとはいえない」

「農は国のもとだと思つ、大事にせなあかんもんや」・・・等々貴重な意見が寄せられました。

最後に林さんは、党は農業を国の基幹産業として位置づけてきた。いま農家のみなさんが抱えておられる不安や不満を解消するためにも、みなさんと日本共産党が共同して農政の転換をはかりましよう」と呼びかけました。

### 地産 地消の給食で農業支援 できる・・・岸本のり子市議

岸本市議は、農業を続けたい人、やりたい人を支える施策と、こつした人々と連携をとり、学校給食などに使うことが、地産地消につながる。それは自校方式の給食でこそ成り立つ・・・このことを議会で取り上げてきたことを紹介。これからも旧志賀町の自校方式の給食や、中学校給食を残し全市に広げるためがんばる決意を述べました。



絵手紙ありがとうございました

使ってください!

新品ではありませんが、こたつふとん、こたつ敷いりませんか?  
申し出は谷まで(594-0190)

「農業を語るつどい」に参加された後援会員さんのNさん 日頃の思いを語られました。紹介します。



私は耕作面積8反で米作りをしています。地元で3反。高島で5反。どうしても機械によっては田が離れていることで複数いるものもあります。農業をやる上でいろんな問題をこれほど感じることはありません。

### 世界規模の温暖化

温暖化が世界規模で問題になっていますが、最近思うことは1月の気温で5日ほど前になりますが、春めいた気温で庭管理が毎日の仕事の私には感じられました。今年だけでなく8年前からおかしいと思っています。時期はずれの花が咲いたり、比良山ではぶなの木が病害虫によって枯れているのを目にします。温暖化によって山の木までが病害虫で枯れてきていると思います。米については昨年日照不足が言われました。必要な時期に日照不足。あるときは高温障害により乳白色米が発生する。米作りも大変です。環境に耐える品種改良に10年かかるといわれています。

病害虫についても農薬散布により、害虫の抵抗性が進み効かない農薬も出てきています。知り合いの庭師が言うには、皆さんご存知のタンスに入れていた樟腦の原料はお宮さんによく植えられた楠木です。楠木にも虫がつくそうです。また、仏さんにあげるシキビは劇物指

### 鳥獣害の被害

次に、サル、イノシシ、鹿の被害の問題。一昨年は2反の田んぼが鹿にやられ収穫が半減しました。昨年は鹿ネットを張ろうと思いましたが、いいもので4~5万円。儲かりもしない農業に購入をやめ、畦に硫黄臭のきつい石灰硫黄合剤の散布で忌避効果を期待し、白いナイ

### 比良山のぶなの木まで枯れている！

定されていますが、ハダニがつくことがあります。過剰な肥料(特に窒素)により病害虫の発生頻度を高め、農薬を散布する。その結果、樹木を弱らせ、ますます病害虫の発生が多発し、枯らしてしまいます。本来は樹木、野菜、草花が持っている防御能力の成分があります。例えば、米ヌカや木酢液は有効微生物を増やし土壌改良に役立ち病害虫対策になるといわれています。(今読んでるのが自然農薬の作り方<農文協>です。1週間おきに散布しなければならないのが自然農薬かもしれません)。昔のように食べ物のクズや米ぬか、草を田や畑に入れていたことが理にかなっていただけではないでしょうか。しかし、化成のリンは中国からかなり頼っている状況で、そのリンで作物を作っている。(リンは鉱石から取り出されているものです)。今後、自然環境を考えれば自然農法に重きを置く転換が必要と思っています。

ロン紐で夜行性の鹿をくい止める。効果があったのか被害はなかった。これだけ獣が増えた原因は琵琶湖総合開発に雑木を伐採し、植林がやられたことが大きな要因であると思っている。

### 後継者問題 生産者も消費者も一緒に日本の農業をどうするか考えるとき！

後継者が深刻な問題です。父がなくなり6年になりますが、ほぼ一人で作業しています。田植えが終われば会社出勤前の水入れ、会社が終われば畦の草刈等忙しくなります。あと15年農業すれば70歳。娘2人に託せられるか。ほとんどの農家が不安を抱いているので

はないでしょうか。その結果、あちこちで不耕作地が増えているのを見てほしい。農業所得についても機械の減価償却費を加えると完全に赤字です。自給率が数字として問題になっていますが、消費者と一緒に日本の農業をどうするか考えるときだと思います。

